

食物誘発性アナフィラキシーショックの発症を予防するためのキャッシュレス決済システム

元公衆衛生学 村松 圭司

利用分野

近年普及が進んだキャッシュレス決済の仕組みを活用して、食物アレルギーを有する者が食物誘発性アナフィラキシーショックを発症することを予防する。

シーズ

交通系ICカード等の電子決済用識別情報とカード所有者のアレルゲン情報を対応付けることで、購入商品の電子決済時に原材料にアレルゲンを含む商品が含まれていないかを照合するキャッシュレス決済システムである。アレルギー判定専用のICカードを持ち歩く必要がなく、簡易かつ確実に購入商品についてアレルギー判定を行うことができる。



ニーズ

近年、販売される食品等は、その食品に含まれるアレルギー物質が表示されるようになってきている。しかしながら、食品に表示されるアレルギー物質は、食物アレルギー症状を引き起こすことが高い特定成分に限定されているが、購入者によっては、特定成分以外の物質がアレルゲンである場合もある。また、購入する商品毎に、注意すべき成分を確認するのは煩わしく、見落とす恐れもある。

連携分野

既存のキャッシュレス決済の仕組みを活用した社会デザインモデルの構築。



知財保護

特開2026-013505

子どものアナフィラキシーショックの発症も予防

電子決済用識別情報	ユーザID	アレルゲン情報
交通系ICカードの識別情報	ユーザA	小麦、卵・・・
電子マネーの識別情報	ユーザB	アーモンド、蕎麦・・・
クレジットカードの識別情報		



本学マスコットキャラクター
ラマディー



産業医科大学

産業医科大学 産学連携・知的財産本部

〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ケ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@mbx.pub.uoeh-u.ac.jp